

上道北方坂口古墳・塚段1号墳・塚段2号墳発掘調査概要

岡山市上道北方では、昨年からの畑の圃場整備が行なわれており、この区域では塚段遺跡が知られているにすぎなかった。

今回の圃場整備に先立って埋蔵文化財の分布調査を実施したところ、坂口古墳が発見され、塚段遺跡と共に文化財保護法で規定された埋蔵文化財と認められたが、工事計画やむをえず記録保存を計ることとし、昨年11月18日から発掘調査を実施しております。

塚段遺跡からは、横穴式石室を持つ古墳が2基発見されました。また、坂口古墳下の畑にあけたトレンチからは中世から近世の遺物を含む包含層が確認され、斜面に形成された水田や畑の開発時期が判明しました。

1 坂口古墳

- ・ 径10m(推定)の円墳 (横穴式石室の約1/4が残っていた)
- ・ 石室規模(現存) 奥壁長1m 石室最大残存長1m80cm
- ・ 出土遺物 勾玉1、管玉1、ガラス玉1、切子玉1
銀環1
鉄器(刀子、クギ、カスガイ)
須恵器(杯、碗、小甕、平瓶)
- ・ 古墳は、6世紀中葉に築造され7世紀初頭まで追葬されていた。

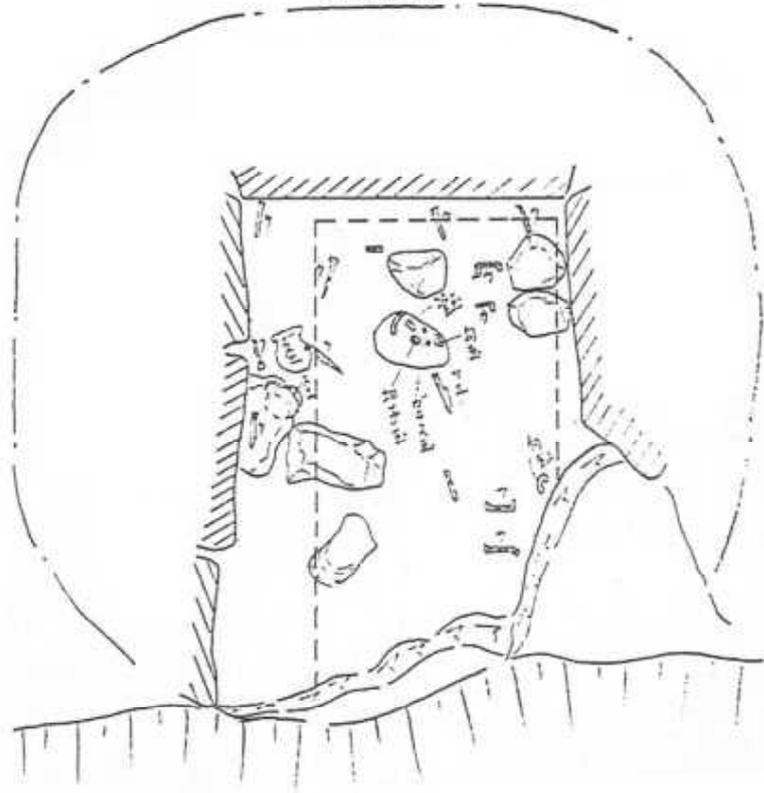
2 塚段1号墳

- ・ 石室規模 全長9m40cm 玄室幅2m10cm 玄室長4m90cm
羨道巾1m50cm 羨道長4m50cm
- ・ 出土遺物 勾玉4、管玉1、ガラス玉45、空玉1、埋木玉1、ねり玉14、メノウ玉1、
切子玉1、ビーズ玉約70cm分
金環2、銀環10
小型銅鏡
鉄器(馬具、大型鎌、小型鎌、クギ、カスガイ、鎌)
須恵器(杯、直口台付壺、はそう、平瓶、碗、装飾付脚付壺、大甕)
- ・ 古墳は、6世紀中葉に築造され、7世紀初頭まで追葬されていた。

3 塚段2号墳

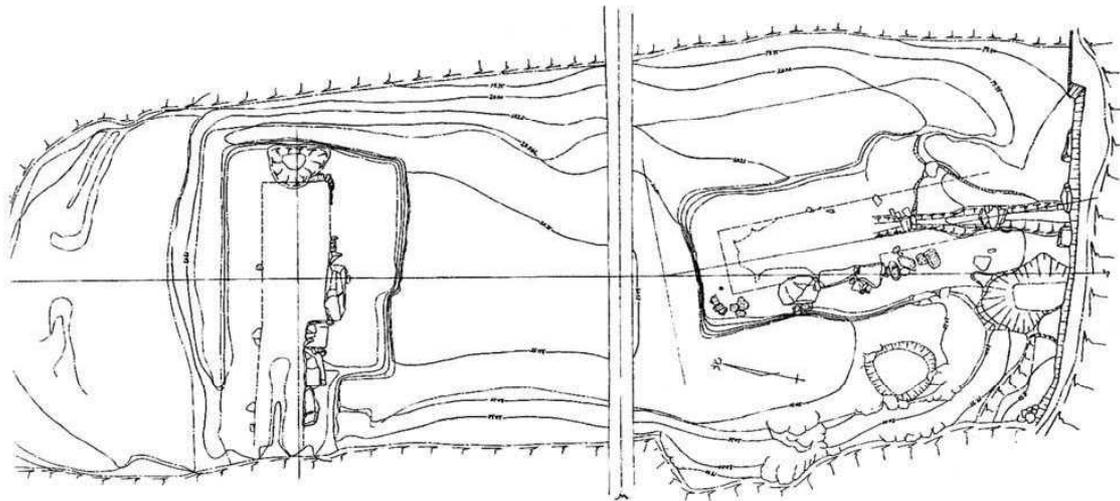
- ・ 石室規模 全長9m60cm 玄室幅2m10cm 玄室長5m10cm
羨道長4m50cm 羨道巾1m95cm
- ・ 出土遺物 勾玉1、管玉1、ガラス玉111
金環5、銀環6、耳環5
鉄器(馬具、大型鎌、小型鎌、クギ、カスガイ)
須恵器(杯、高杯、提瓶、平瓶、装飾付壺、器台、大甕)
- ・ 古墳は、6世紀前半に築造され、6世紀末まで追葬されている。

石室堀方

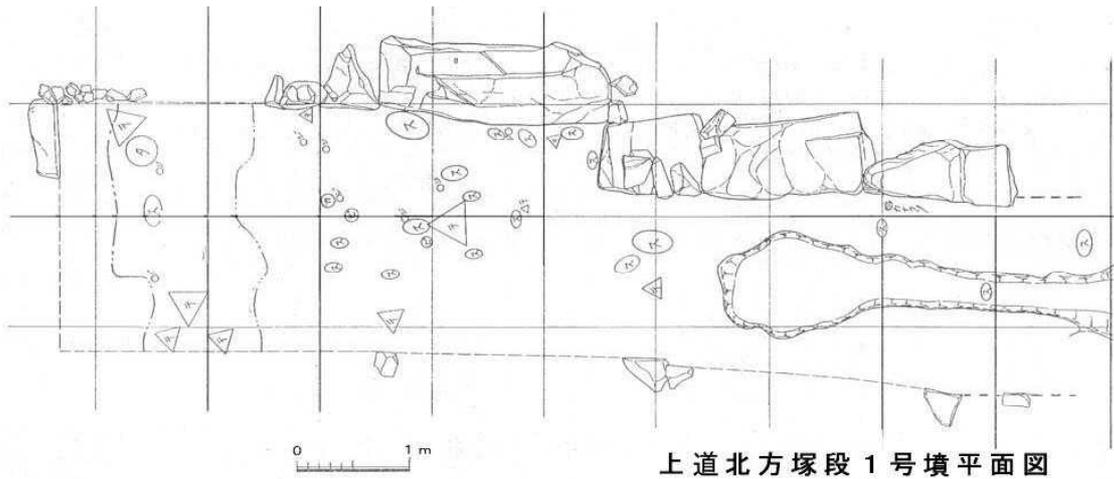


坂口古墳石室平面図

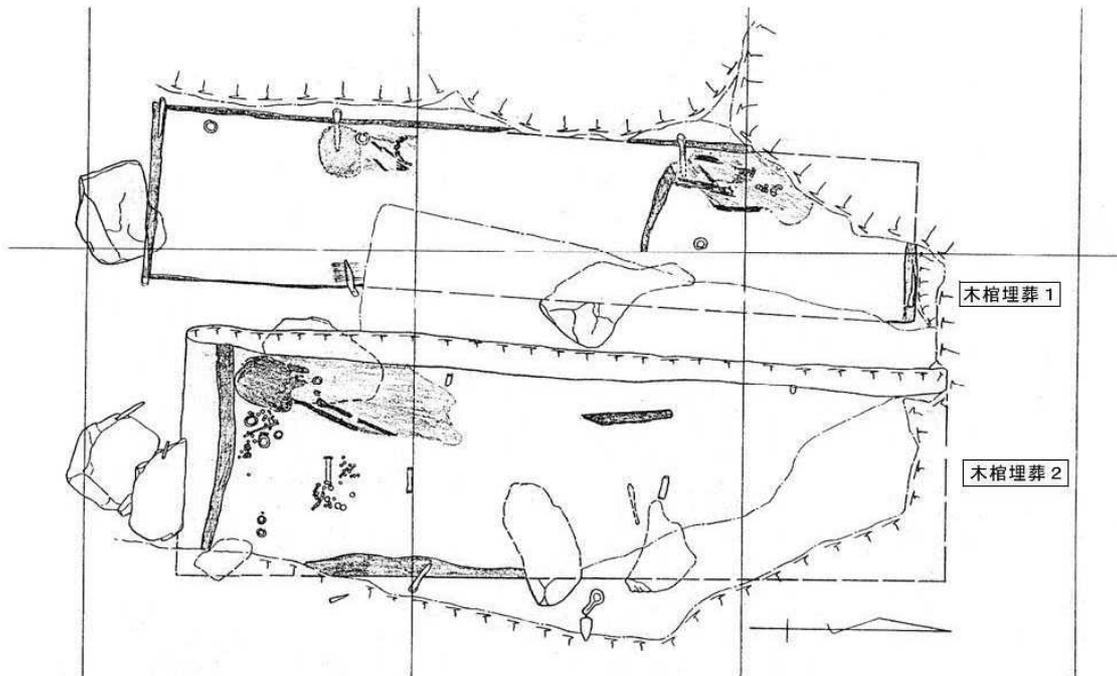
- カ カスガイ
- ク クギ
- 棺推定位置



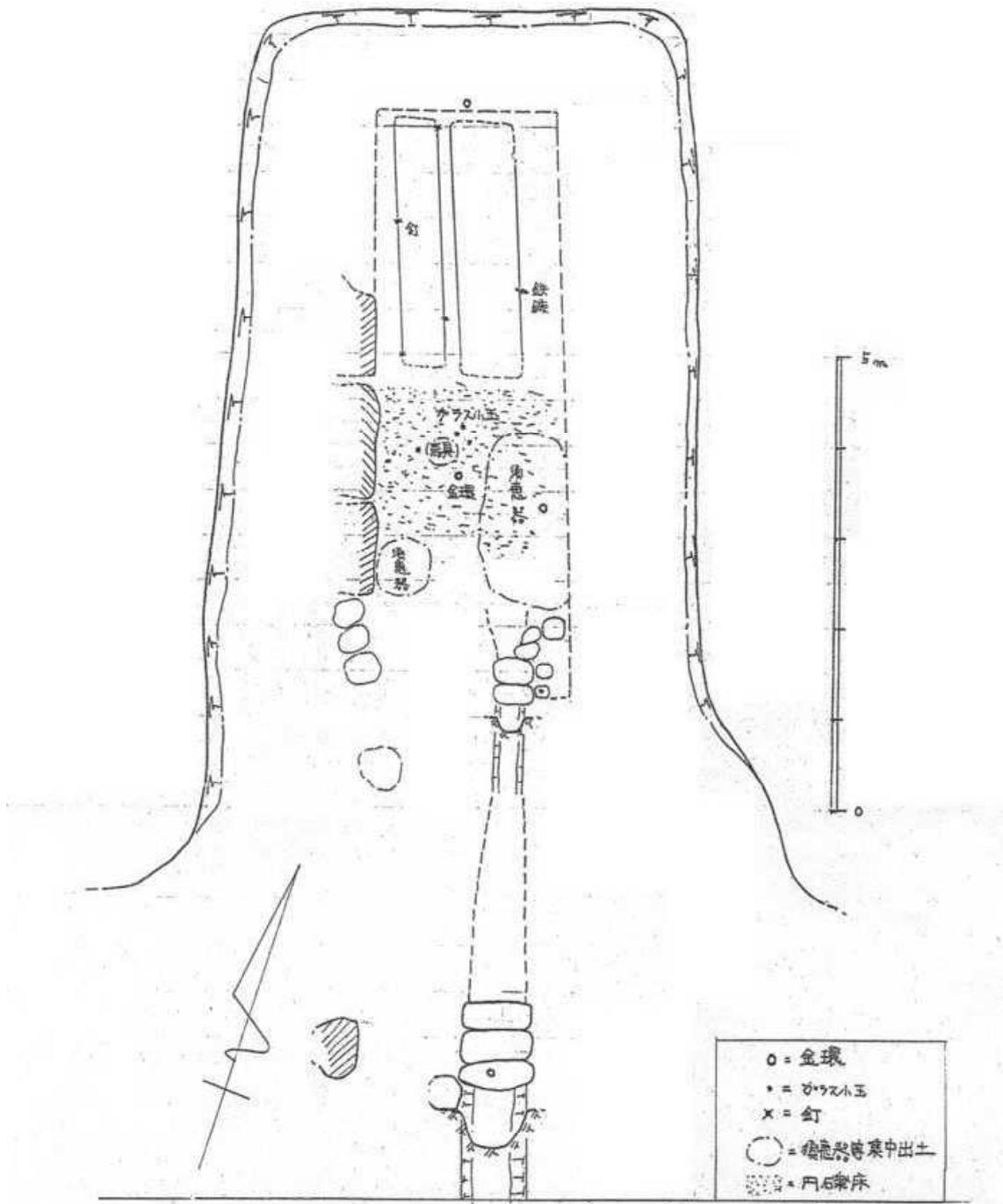
上道北方塚段1・2号墳



上道北方塚段1号墳平面図



上道北方塚段2号墳木棺及び遺物出土状況



上道北方塚段2号墳
 石室平面略図